八潮だより

第44号
発行所 八潮公民館
発行人 会田悠治
編集人 大山昌吾

謹賀新年
昭和三十七年

新しい年を迎えて

―明るい村づくりに邁進―

八潮村長　恩田理三郎

昭和三十七年の新春を寿ぎ村民各位のご繁栄を祝福いたします。新村発足以来第六回目の新年を迎えるにあたり、過去五ヵ年の歳月を省みて、誠に感慨無量のものがあり、いよいよ決意を新らたにし、村民と共に明るい村づくりに邁進いたす覚悟を固めた次第であります。

近代農業を主体とした構造改善により農業振興を勧奨し、商工の振興助長のため、県の施策に順応して産業道路の整備改善、及び建設を図り、工業用水道の設置に協力し、ますます商工業が発展するよう重点的に財政投資を行なう方針を樹立する考えであります。

もとより継続事業たる統合中学校の建設はもち論、教育行政の円満なる発展を考慮し、社会教育のなかでは特に青少年の補導と、次の世代に役立つための村民の産業教育に努力を捧げる所存であります。

また国民健康保険事業の発展による村民の健康管理を推進し、安んじて与えられた職場で十二分の活躍ができる環境をつくることにより、村民福祉の増進に寄与いたしたいと思います。村民各位には倍旧のご支援とご鞭撻を乞い願い、各位のご多幸を祈念して新年の祝辞といたします。

"暴虎"とならず

新春を迎えて

教育研究会長　田中登美男

「川にのぞんで魚をとらんと欲するならば、先づ退いて網を補修せよ」このことば、この心構えが私達の生活全般に極めて肝要であると信じております。

人間の生活に、子供の養育に当たって、ただ一方的に、暴虎のように、ガミガミと、ぶつかることも成果はないようであるし、またあべこべに心にもない、表面的な弱腰で臨む のもどうか と思います。

日に三省することの尊さを知らないわけでもないが、過ぎた一年を反省して、先づ淵にとりくむ前に、網をつくろう。準備の心構えを特 に強調したいものです。

八潮村の教育条件が逐年整備向上の道を進んでいる時、ここに昭和三十七年の新春を迎え村内九十名の教職員、暴虎とならず、つとめて落ちつきをもって精進することをお誓いしてあいさつといたします。

春陽

岩渕龍城

やしろより駈け来し子らの暖かき
匂いはなきて瞳の輝やく

はるの陽に佳き年なれとぬかずけば
望みあらたに鈴の音の聞こゆ

老梅の枝飾れいし店頭に
子らのみ集い春を寿ぐ

春の陽の甘く静かに訪うて
堤のみ光り妻の若やぐ

乏しさに苦しさに堪え商う妻
春陽おろがむ手のふるえいて

和と輪

昭和三十七年の新春に

公民館長　会田悠治

社会生活の単位は家庭から、和は理解ある話し会いによって家庭の和が成り立ち、さらに隣人、部落、地域、職域にと及び村全体の和の母体となる順序であります。これが大きな輪となって強い活動力が結集されます。

本村も発足六年を迎え当初の計画目標を逐年確立実施せられ、大きな発展の段階を歩みつつ前進を続けています。折柄いよいよ和と輪の強化を願って止みません。

親愛なる皆さん昭和三十七年の新春に当たってさらに一層のご理解を深められ郷土の和を確立いたしましょう。反省して

年毎に　幸多かれと願うにも
己がつとめの　如何にありなん

新校舎に移り新たな覚悟で

川上記

新年おめでとうございます。本年も相変らずお願い致します。学校の実情を申し上げますと、十二月二十五日新校舎に移転致しました。村当局、教育委員会、PTA、その他の方々から絶大なるご指導、ご支援、ならびに年末ご多忙のところをご奉仕いただきまして、無事完了できましたことを深く感謝致します。

新校舎には、八条の生徒全部と潮止の三年がはいりまして、三年四学級、二、一年はそれぞれ二学級、計八学級を編成して本校と致します。本校職員は校長、教頭、今までの八条にいた職員のほか潮止より田中一郎、飯山三郎、長谷川一男、渡辺国子の諸教諭が勤務し、潮止を分教場として主任竹之内教諭以下七名で運営致します。まれに見る近代化された立派な鉄筋の校舎で働かせていただける職員一同、感謝の気持ちで一ぱいでございます。村当局ならびに村民の皆様方の深いご理解とご熱意による賜でありますので、学習並びに生活指導に全力を傾けてご期待に添いたい覚悟でございます。

皆々様の貴重な浄財によってできあがりました校舎でありますので、大切に使用して参ります。どうぞお序での折はぜひお立ち寄り下さいましてご覧いただきながら今後のご支援を切にお願い申し上げます。第二期工事も始まりましたが全生徒があの立派な校舎で勉強させていただけるようお願い申しあげ、お礼かたがたご挨拶にかえます。

学校教育に万全を

教育委員会委員長　加藤市三郎

昭和三十七年新春を迎え謹んで新年のお祝いを申上げます。

本校の教育行政も関係当局並びに村民皆様のご協力によって、着々堅実な歩みをつづけており、また社会教育の面におきましても、深まる関心とともに多大な効果をあげておると思います。

今回の文部省委嘱婦人学級のごとき、婦人の熱意ある学習によってこれから村造りの一たんに大きな成果を見せております。

さて学校の面では待望の統合中学校新校舎が立派に落成し、八条分教場全生徒及び潮止本校三年生が、昨十二月二十五日移転を完了しました。その際PTAの皆さまには格別の熱心なご協力をいただき感謝のほかありません。

昨年の十二教室の竣工につづいて、さらに十二教室の新築工事が草加高梨工務店の手によって着工される運びとなっております。そして四月には三校を一つに完全な統合八潮中学校が発足する予定で机を並べて学習にはげむことが出来る訳であります。

私ども教育委員は、今後一層、学校教育社会教育の実態を認識することにつとめその改善向上と施設整備に骨折りたいと思っております。何卒本年も宜しく御指導ごべんたつを賜りたくお願い申上げます。

昭和三十七年正月

八潮小話 ④

大矢青生

大瀬半五郎（一）

「上州名物カカァ天下に空っ風」

上州には大前田英五郎、国定忠治のようなバクチ打ちが居った。堅気の旦那衆は毎日毎日バクチに溺し、なかなか家に寄り着かなかった。やがて家庭はみだれ家は没落して行った。

当地は昔時、伊草の菊蔵、一方大作の音五郎の縄張り争いから始まり、時は天保の頃音五郎の実家は古新田村の三角猪の松、泣く子もだまるという豪の者の弟で伊勢野村大作三郎右衛門へ婿入りし、職業は瓦職人、作家は現在の大作信吾宅の近くの大作氏の親類大作仲次郎、俗にすしやと号し酒商を営み土地の若衆の集会所だった。

年頭にあたつて

村会議長　鈴木慶助

ここに昭和三十七年の新春を迎えまことに御同慶に堪えません。新しい年を迎えることに今年こそはと構想を新にするのであるが、年末にいたりいわゆる龍頭蛇尾の結果となり、自己嫌悪に陥いるのであるが、これは私のみではなさそうであります。

過古を反省し更に将来の計画を樹て、これを実現すべく努力することは意義の深いものでありますこの点個人のみならず村においても同じであります。八潮村も合併以前に比較すると長足な進歩をいたしました。道路、橋梁、学校施設等においても満足する段階ではありませんが、以前とは比較にならないのであります。

本村の財政規模も逐年増大いたしつゝありますが、更に一段と財源の増収が見込み得るようになったことは喜ばしき次第であります

私達村政に関係あるものは、お互に相協力してこの財源を村民の要望する方向に投資して有効適切に費わなければなりません。然しながらやゝもすると、自己感覚的な視野から批判される場合もありますが、要は村政全体が併行的に進むよう心掛けることが為政者としての責任ではないでしょうか。もち論、例外もありますが跛行であってはならないと存じます。例えば土木行政にのみ重点を置き学校教育には無関係であるというようであってはならないのであります。又健全財政にのみ固しつして緊縮政策のみに陥いることも考えものであります。所謂借金政策であっても村民の福利増進に役だつことであったなら、機運の熟したときに実行することが最もよいと信じます。

民主的な村政の運営には村民各位の要望が基礎となるものでありますから遠慮なく要求することであります。為政者はこの要求をよく検討し実現に努力すべきではないでしょうか。村民各位も自から村政の執行者であるという感覚によって、相協力したならば理想郷が建設されることは疑ないのであります。

村民各位の御多幸を祈り年頭のことばといたします。

賀正

村長　恩田理三郎
助役　小倉昭良
収入役　鈴木泰治

議会議員

議長　鈴木慶助
副議長　堀井勇之助
大久保才一郎
島根栄吉
台清七郎
田中弥太郎
小早川小五郎
小槻芳一
綾田正吾
大山昌吾
宮本時雄
豊田誠治
田中政吉
朝田泰一
田中清一郎
会田喜一
会田睦義
昼間臨太郎
飯山信一
小倉清右衛門
峯岸庄太郎
立川勇之助
恩田敬太郎
昼間盛一
戸代谷隆一
高橋進市
監査員　太田武夫
小早川小五郎

区長会

会長　大山昌吉
副　山中己之助　関根竹之丞
監事　鈴木寅一郎　大山啓治
台平四郎
区長　会田秋元　会田平吉
山中己之助　石井保寿
飯山勝　小林文助
鈴木寅一郎　鈴木滝蔵
豊田友治　堀込秋蔵
池田正治　大山昌吾
田中友吉　恩田永三
台平四郎　金杉和三郎
旧倉健司　高橋源蔵
三ヶ嶋茂　近藤勝太郎
永峰武　小沢富一
園枝福松　秋山文蔵
武之内清吉　立川勇之助
大山啓治・関根竹之丞
鈴木正朔　宮本時雄
小早川小五郎　会田明
会田岩次郎

区長代理者

会田昌夫　和井田福松
荻野熊次郎　篠田正之助
大久保政次郎　鈴木菊治
鈴木熊之助　豊田誠一
浜野清治　恩田三蔵
恩田源蔵　田中弥助
織田松之助　芝秋郎
朝田慶四郎　遠田藤系
旧倉常治　榎本健蔵
大熊登　沢田英次郎
島根栄吉　渋谷雄三
荻野金次郎　浜野専治
石井重次　堀井勇之助
小倉憲太郎　小倉清右衛門
久下沼章　小宮栄蔵
中島清三郎　田中勝五郎
飯山藤吉

村役場

◇総務課
係長　田中文之助　松田稔蔵
職員　臼倉勝男　藤井照子
吉田紀伊子　石井昭治
豊田弘次
◇税務課
課長　浜野仁
係長　大山辰雄
職員　大山竹雄　宮本照文
職員　山岸満江　鈴木澄子
五味田富士子
◇経理課
係長　岡田金弘
職員　小倉真里子　小早川節子
◇厚生課
課長　柴璃順
係長　岩淵正男
職員　木崎水関　鈴木好枝
大谷常明　会田文治
高橋春江　恩田エミ
岡田孝二　金子静江
保健婦　白鳥昭子
◇産業課
課長　石川藤吉
係長　関勘一郎　大山健治
職員　会田誠二　石井隆二
戸辺一郎　三木富城
水野恵美子　金子とし
浜野美恵子
◇水道課
課長　鈴木仙蔵
係長　山田鋌一
職員　小倉浩孝　鯖戸照道
藤波広吉　堀矢助
飯山正時
使丁　小野寺市五郎　小野寺リセ
◇潮止支所
支所長　宇田川秀峰
職員　恩田恒治　柳川洋子
使丁　小川健春
◇八条支所
支所長　石井貞吉
職員　田中則子　飯山良子
使丁　高橋辰蔵

選挙管理委員会

委員長　小沢富一
恩田太郎吉

八潮村教育委員会

委員長　加藤市三郎
同代理　園枝福松
委員　会田悠治
恩田正勝
教育長　三枝弁雄
委員会書記　飯山守
公民館属　石田幸子

選挙管理委員会

委員長　小沢富一　豊田亀吉
恩田太郎吉　栗原徳松

八潮村農業委員

会田睦義　宇田川旗市
豊田惣五郎　石井五郎
田上義雄　浅井文次郎
斉藤伝蔵　鈴木寅一郎
小崎吉太郎　豊田善太郎
堀込林蔵　武之内長蔵
平川五郎右衛門　田村庄一
昼間盛一　平野伊平
遊馬竹松　小早川小五郎
中島清三郎　浅井四一
栗原永政　恩田理三郎
大山昌吾　田中忠五郎
恩田末次郎　浅古次郎
朝田泰一　峰岸庄太郎
石田辰次郎　田中政吉
高橋進市　小沢正一

（二頁へ続く）